

米国 クリスマス商戦を含めた12月の小売は堅調さ維持 (06年12月小売売上高)

発表日：2007年1月12日(金)

～小売売上高(除く自動車・ガソリン・建材)も3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+5.8%と高い伸び～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei-ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
06/01	+3.1	(+9.4)	+2.8	+5.1	+3.9	+6.6	+7.5	+1.8	+2.3	+4.8
06/02	▲0.8	(+7.4)	▲0.2	▲2.4	▲3.1	▲2.6	▲3.5	+0.3	▲1.1	▲1.3
06/03	+0.7	(+8.0)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.4	▲0.1	+0.3	+0.5	+0.4
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.0	(+6.3)	+0.1	▲0.2	▲0.3	+0.8	+0.0	▲0.1	▲0.2	▲1.2
06/09	▲0.6	(+5.5)	▲1.0	+0.2	+0.9	+0.3	+0.5	▲1.4	+2.9	▲9.8
06/10	▲0.2	(+4.7)	▲0.5	+0.2	+0.8	▲0.7	▲0.1	▲0.6	▲1.7	▲4.5
06/11	+0.6	(+4.6)	+0.7	+0.3	▲0.0	+0.1	+5.8	+0.8	▲0.7	+2.9
06/12	+0.9	(+5.4)	+1.0	+0.2	+0.3	+0.7	+3.0	+1.1	+0.6	+3.8

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売売上高は前月比+1.0%と表面的には市場予想を上回った

06年12月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.9% (前月同+0.6%) と前月から加速し堅調さを維持した。ただし、10、11月合計で0.5%ポイント下方改定されており、実態は市場予想 (同+0.7%) ほど強くなかった。

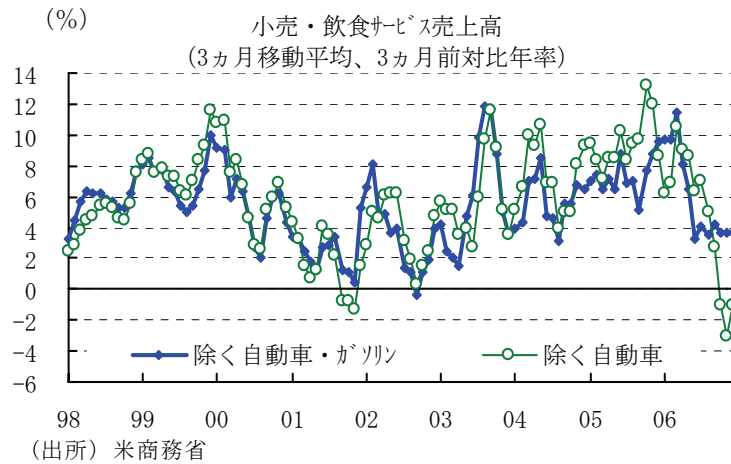
項目別にみると、耐久財では住宅を担保した借り入れの拡大、値下げ販売等によって家具のプラス幅が拡大した。さらに、大幅な値下げが実施された家電は前月の大幅増の後にもかかわらず高い伸びとなった。販売台数の増加した自動車は金額でも加速するなど、耐久財全般で堅調さを維持した。一方、非耐久財では建設資材の減少ペースが加速したものの、衣料品販売がプラスに転じ、良好な天候や観光客の増加を映じて飲食店の売上や、ガソリン価格の上昇に伴いガソリンスタンドの売上の拡大ペースが加速した。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、上記と同様の要因によって前月比+1.0% (前月同+0.7%) とプラス幅が拡大した。ただし、10、11月合計で0.6%ポイント下方改定されており、実態は市場予想の同+0.5%を下回った。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+0.6% (同+0.4%) と加速した。以上のように、12月の小売売上高は、雇用・所得の拡大、株高、住宅資産を担保とした借り入れの拡大が続くなか、クリスマス商戦での積極的な値下げ販売を背景に堅調さを維持した。特に、大幅な値下げ販売が行われた家電が高い伸びが持続した。

小売売上高は堅調さを維持

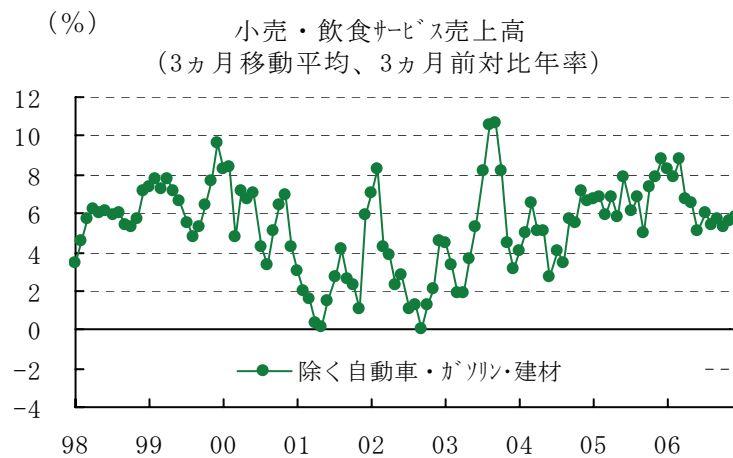
3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は▲1.0%（前月▲3.0%）とマイナスとなったものの10月に価格の下落によってガソリン販売が減少した影響であり消費のモメンタム悪化を意味しない。このような影響を除くために自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると、12月に+3.7%（同+3.7%）と高い伸びとなっており、消費は堅調さを維持していると判断される。



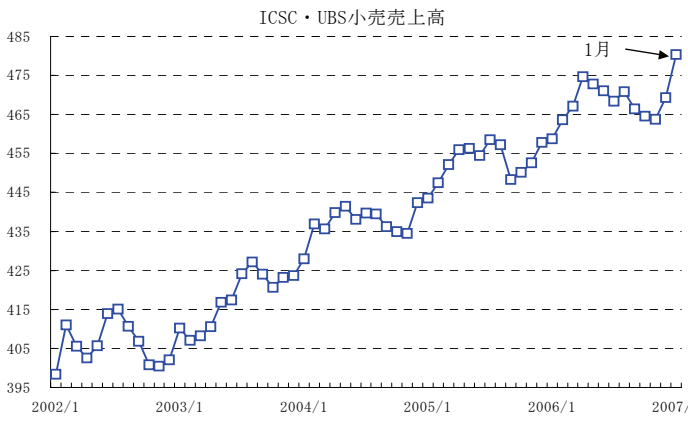
小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.8%（前月+5.6%）と加速

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、12月に前月比+0.9%（前月同+0.6%）、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも+5.8%（前月+5.6%）と加速し高い伸びとなった。このことから、10～12月期の実質個人消費は前期比年率+4%台前半の伸びが予想される。

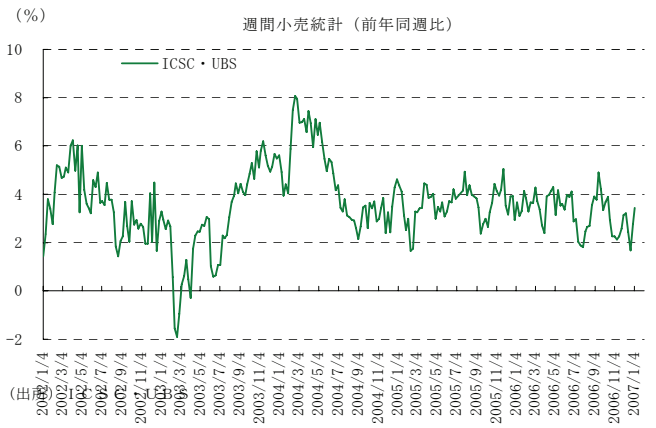
さらに、雇用・所得の拡大が続くもと、ギフトカードの使用やクリアランスセール等を背景に1月第1週のチェーンストア小売売上高は前月比+2.3%、前年比+4.7%と堅調さを維持している。



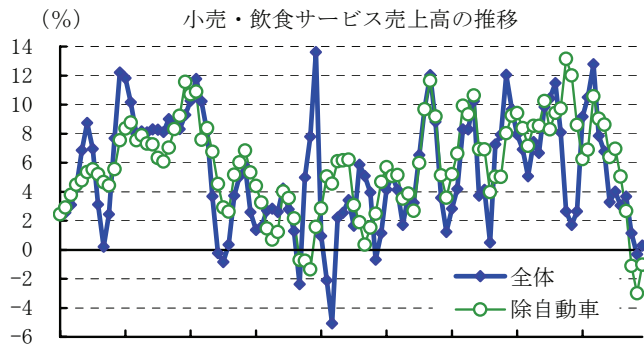
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



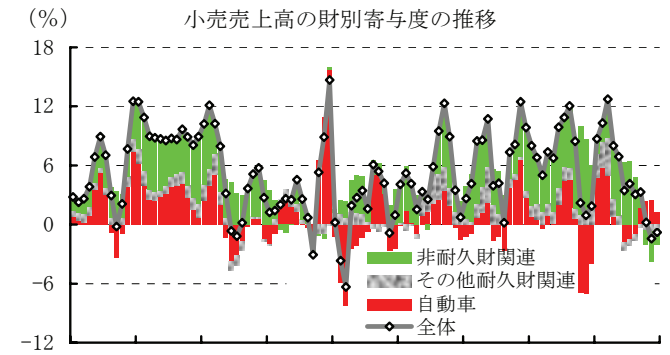
(出所) ICSC・UBS



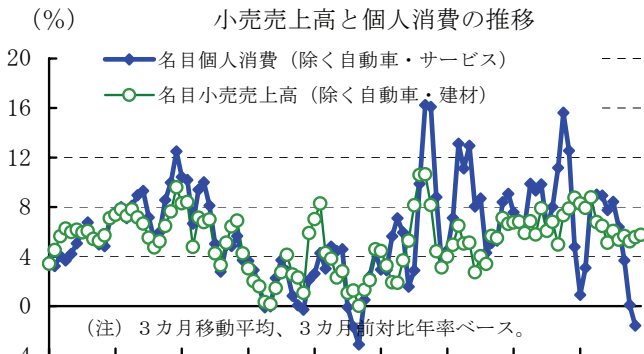
(出所)



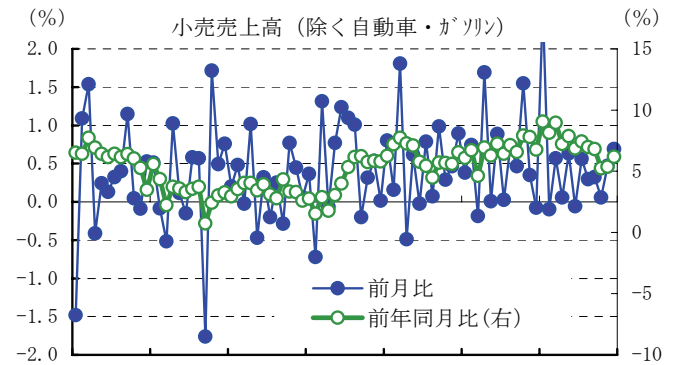
(出所) 米商務省 (注) 3カ月移動平均、3カ月前対比年率。



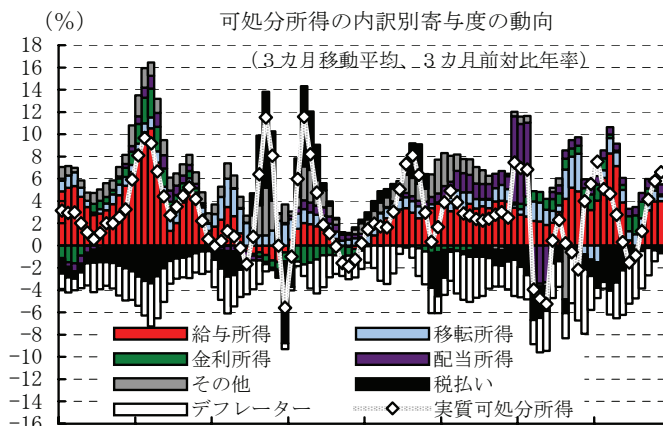
(出所) 米商務省 (注) 3カ月移動平均、3カ月前対比年率。



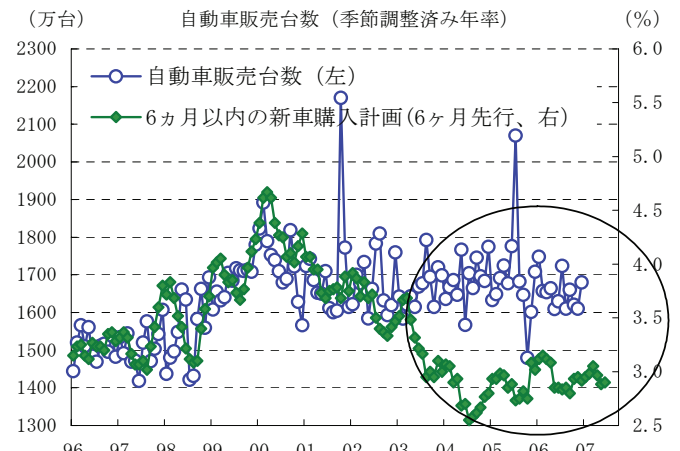
(出所) 米商務省



(出所) 米商務省



(出所) 米商務省



(出所) 米商務省、CB

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。